

短期研修報告書

記入 | 2016年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	フライブルク大学 (ドイツ)
短期研修のプログラム名	SLI English course
留学した期間	2016/3/1~2016/3/26

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

英語は昔から好きで勉強もしていたのですが、日本では実際に英語だけを話す状況になることはほぼないので、留学して一日中英語に触れて自分の speaking を伸ばしたいという思いから応募しました。ドイツを選んだのは、ヨーロッパに行ってみたかったことと、授業料がほかのプログラムより安かったことが大きな理由です。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日は 9:15~12:45 の授業を受けて、午後からはフリータイムでした。英語クラスは一つしかなくて、14 人のうち日本人 3 人以外はみんなドイツ人がドイツに住んでいる周辺の国出身の人でした。授業はすべて英語で、文法と会話の表現やイディオムを学びました。会話やイディオムを使う練習は生徒同士のペアでやったので英語をたくさん話しましたし、文法は日本で習ったものばかりだったけど、全部英語で言われるからリスニング力がすごく上がったと思います。そして作文を準備してくる課題も数日に一回出たのですが、毎回必ず先生が細かいところまで手書きで添削してくれて、自分の間違った英語を直すことができました。みんなの前でそれを発表するときは、緊張したけどよい発音ができるようにたくさん練習するいい機会になりました。グループに分かれて、今まで習った構文やイディオムを使って短い劇をするという授業もあって、相談する段階からすべて英語でコミュニケーションをとったのもいい経験になりました。午後からのフリータイムや土日には、学校が準備してくれる参加自由のアクティビティがありました。市内観光ツアーや、夜ジャズバーでお酒を飲むもの、電車で動物園や博物館へ行くツアーなどいろいろな種類があります。そこで他の大学からきている日本人と友達になり、学校以外でも一緒に出掛けたりするようになりました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

私が住んでいたのは学校からトラムで 10 分くらい、キッチンとシャワーは共用の 8 人フラットの寮でした。元から住んでいる学生たちがとても親切にしてくれて、いろいろ質問すると教えてくれました。初めの週末にはフラットメイトたちが共用キッチンで手作りの夕食に招待してくれました。ほかの食事は、パンを買って食べたり、レストランに入ったりして食べました。近所にスーパーがあって、パンやチーズ、生ハムが日本よりもかなり安いので自分でサンドウィッチを作って学校に持っていくこともありました。ドイツの人たちはたいてい英語が話せるのでドイツ語が分からなくても何とかなんとわかりました。

私の部屋はもともと住んでいた人が Wifi 環境を残して行ってくれましたが、ほかの人は部屋にはなかったようです。外では学校がマクドナルドの Wifi で連絡を取っていました。ポケット Wi-fi を持っていくこともできるけど、お金もかかるし、せっかく海外にきているので 1 か月くらい携帯にとらわれず、周りにあふれている新鮮なことに目を向ける生活ができてよかったと思っています。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

わたしはリュックを持っていきましたが、簡単に開けにくいものを選びました。また、携帯と財布はコートの中に入っている服の前ポケットに入れるようにして、スリに気を付けました。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

本当にこの短期研修に行ってきた、と思っています。4週間英語を毎日聞き続けたおかげでリスニングがよくなったし、会話ではどんどん自分から話す積極性が身に付きました。考え込んで止まってしまうこともあまりなくなり、スムーズに思ったことが言えるようになった気がします。そして、アクティビティでは旅行では体験できないことをたくさんできたり、他の国の人たちと話すこともできました。スーパーで買い物して料理したり、休みの日には自分でネットで高速バスを予約して出かけたり、私が海外で体験してみたかったことがたくさんできました。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	17万円	
海外旅行保険	2万円	
授業料(教材費含)	6.5万円	
滞在費(寮費など)	3.5万円	
食費	4万円	
交通費	3万円	
その他(小遣い、通信費など)	6万円	
計	42万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

レギオカルテという電車の定期券を最初に買うので、それでいける範囲でたくさん出かけました。例えば、フライブルクから電車で20分くらいのところにある、Titiseeという湖は、ガイドブックにはあまり載っていないけど、現地でお会う人みんなにおすすめされた場所でした。学校が終わって午後から行ってみたら、まだ少し雪が残っていて本当にきれいでした。



現地の食事も楽しもうと思って、いろいろな郷土料理を食べに行きました。これはシュニツェルというトンカツのような料理で、ソースにも種類がたくさんありました、また、ドイツといえば有名なソーセージや、ビールも味わうことができました。



建物が本当にかっこよくて、日本と全く違う建築様式にとっても惹かれました。これは街の中心にある大聖堂で、中にもはいれます。ステンドグラスも中であって、感動しました。

最後の日にみんなで塔に登ろうと決めていて、無事に天気も晴れて、卒業のセレモニーの後塔の一番上まで登りました。1か月の滞在を終えて、塔から見渡せる街のあちこちに思い出ができたことを実感しました。



短期研修報告書

記入 | 2016年4月
所属&学年 | 文学部3年生

留学先大学(国名)	フライブルク大学(ドイツ)
短期研修のプログラム名	英語研修(春)
留学した期間	2016.3/1~3/25

1. 留学前の準備(応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

自分にとって新しい環境で、英語とヨーロッパの文化を学び、人々とコミュニケーションを取りたかったから。また、ドイツの授業を2年間受けており、街並みや人々、食べ物、風土、文化を自分の目で見たい気持ちが強かったから。

2. 研修内容や学校(内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日の午前中3時間が授業である。クラス内での学生がコミュニケーションをとるような授業内容となっており、話す力・聞く力・書く力・読む力・ボディランゲージなどがバランスよく学べた。ドイツ人の学生が半分ほどで、その他は世界各地の出身であった。教授はとても陽気で理解のある人である。

3. 生活(住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

自分はとてもきれいな寮の一室を与えられ、一人暮らしであった。快適ではあったが、他のルームメイトとの交流が少なかった。しかし、共同生活を想定していなかったため、鍋や皿などの用意がなくて購入することになった。変換プラグ(ドイツ⇔日本)、日本食、薬は持参しておくことよい。金銭に関しては、現金を持って行っても良いが、分散させたり、財布のはいったカバンを自分の胸元に位置させたりするなどスリに合わないような工夫をしないと痛い目を見る。(友人がスリ被害にあっていた)

4. 危機管理(身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

常に自分は周りを見渡して、警戒心が強いことをアピールした。日本人には友好的な反面、犯罪のターゲットにはなりやすいことを常に頭に入れておくこと。旅行中、現地の警察に取り調べをうけたが、パスポートを持っていたのでかるうじて解放された。パスポートのコピーでもいので肌身離さず持ち歩くと良い。忘れ物をしていないか常に気を付けると良い。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

フライブルクという都市は、街並みは綺麗で、食べ物は美味しく、歴史があり、人々が暖かく、観光地もたくさんあります。そこでドイツ語を学ぶのも良いですが、英語コースで渡独し、それらの一見する価値があるものに触れるのも良いと思います。様々な場所に出かけ、たくさんの人と話して、ドイツで過ごした一か月は僕にとって非日常でとても充実したものでした。初めての留学の学生にはおすすめのコースだと思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	17万円	
海外旅行保険	1万円	
授業料（教材費含）	10万円	
滞在費（寮費など）	0円	大学が用意してくれた。
食費	10万円	
交通費	10万円	旅行をたくさんしたので。
その他（小遣い、通信費など）	10万円	旅行をたくさんしたので。
計		58万円

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

- ・近隣諸国や、ドイツの観光地は割と簡単にいくことができます。チャンスはありますので是非行ってみてください。
- ・定期を購入することになりますが、とても便利なので調べて使ってみてください。
- ・大学がアクティビティを用意してくれているので積極的に参加するといいです。
- ・スーパーで売っているものは日本と同じかそれより安い印象を受けますよ。
- ・冬は肌が乾燥します。弱い人は要注意。
- ・ドイツの若者には英語が通じます。ただお年寄りには通じません。
- ・W i - F i は大学とマクドナルドのを使っていました。（寮では運がいいと遣わせてもらえます。）